



とうきょう
すくわく
プログラム

こどもの「すくすく×わくわく」をおうえん

テーマを設定した理由

保育園の周りにある自然・木に着目。普段から自然と木に触れる中から更に木について広げ、深められる経験が楽しめるのではないかと

活動のために準備した素材や道具

木、ペン、アクリル絵の具、毛糸等

環境をデザインする

○日頃の散歩、専門家との関り、日頃の保育の中での材料設定

活動内容

○活動内容 形状や質感などの素材の違いを知り、五感を通じて楽しみながら探求する。

専門家との活動を通し、木に触れ、感じたことを年齢に合わせた表現し楽しむ。身近にある椅子や棚も木からできていることに気付いたり、木を使った遊びや製作を楽しんだり、お友だちとの共同作業も楽しむ。

活動のスケジュール(全クラス)

| 活動内容(専門家との活動) | | クラス | 活動 |
|---------------|--------------|--------|----------------|
| 10月 | 木との出会い | 全クラス | 木に触れる |
| 11月・12月 | 木での製作 | 全クラス | 年齢に合わせた楽器、玩具作り |
| 2月 | 卒園製作・木での看板作り | 5歳児 | 園の看板を作る |
| 2月・3月 | 植樹体験 | 4, 5歳児 | 植樹と看板作り |

振り返りによって得た先生の気づき

すくわくの活動を通して木のことについて知識が深まっていることを子どもの発言から感じた。また、園外散歩に行くときにも活動を行う前と後では子どもたちの興味の向く方向がより自然物・木に向けられていたと感じる。子どもたちと同時に保育者も興味関心の広がりや新たな発見があった。

木との出会い(10月)

0歳児

・木の皮をむいていると不思議そうな表情を見せ、皮のおいを嗅いだり、むいた部分に触れたり、普段できない経験が4感の刺激(見る、聞く、嗅ぐ、皮膚で感じる)になっていた。



5歳児

初めての経験だったこともあり、子どもたちの感想をたくさん聞くように心掛けると、木から「マスカットの匂いがした」など面白い気づきもあった。



4歳児

様々な形状の木に触れて疑問に思ったことを尋ねたり、遊んだりすることで違いに気付く子もいた。

・活動後に「これ木だ!」話す姿から、目にすることはあっても触れることが多くない木に間近で触れたり、観察したりすることで木への興味が高まっていると感じた。



1歳児

様々な形の木があったためか遊び込む子の姿も見られた。クラスに戻ると木の絵本を見つけたり保育室内にある木の素材でできたものを見つけ伝えたりする姿も見られた。それぞれが木に興味を持つきっかけになった。



2歳児

様々な木の形に興味をもち、触ると笑顔になっていた。木や自然物に興味を持つきっかけになった。

3歳児

鉋屑プールでは、木の匂いを感じながら楽しむ姿が見られ、木の皮をむいた切り株はお部屋の中で毎日観察し、気付いたことをお友達や保育者に伝える姿があった。



木を使って製作（11月・12月）

3歳児
木のベンチにやすりをかけて作ったり、木のパズル製作を楽しむ。パズルは家でも楽しんで様子を伝えていた。



4歳児

前回の取り組みから木に興味をもち、身近な物の中から木を見つけて話題にしたり友だちと共有したりする姿が増えていたこともあり、すくわくの活動を楽しみにしており、より積極的に参加する姿が見られた。



5歳児

木っ端クラフトでやすりを経験したことにより、ガサガサした部分は自分からやすってみようとしたり、積極的に参加する姿があったので子どもたちの疑問を一緒に考えたりどんな道具があるといいか考えられるようにした。



0歳児

自分で楽器を作るという経験は貴重な時間となり、その後も定期的に楽器遊びを楽しめている。

2歳児

木の楽器作りに興味をもち、着色をしていた。出来上がると嬉しそうに振り、音を楽しんでいた。



1歳児

まるたネットができあがるとすぐに演奏を始め、飽きることなく楽しんでいた。

保育園をデザインする(2月・3月)



4 歳児

植樹を経験することで、より木に興味をもったり生長を楽しみにしたりする子が増えることを予測し、散歩先で木に触れるきっかけ作りを行ったり、中庭や玄関先の木を観察する時間を作ったりしていく必要があると感じた

5 歳児

文字を木片で作るということで2人1ペアになって考えてもらった。文字を作るのに時間が掛かることを想定していたが、すぐに考えて形にしたグループが多く、これまでのすくわくの取り組みでの成長を感じた

